

山岳遭難発生状況

(令和8年1月1日～令和8年4月26日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和7年数値は1月1日からの同期間数値）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和8年	55	10	1	13	40	64
令和7年	59	13	1	28	29	71
前年同期比	-4	-3	0	-15	11	-7

2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北ア	槍穂高	2	3.6%	0	0	1	1	2
	後立山	21	38.2%	6	1	5	14	26
	その他	1	1.8%	0	0	1	0	1
計	24	43.6%	6	1	7	15	29	
中央アルプス	6	10.9%	0	0	0	7	7	
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0	
八ヶ岳連峰	11	20.0%	3	0	3	7	13	
その他の山岳	14	25.5%	1	0	3	11	15	
計	55		10	1	13	40	64	

3 態様別発生状況

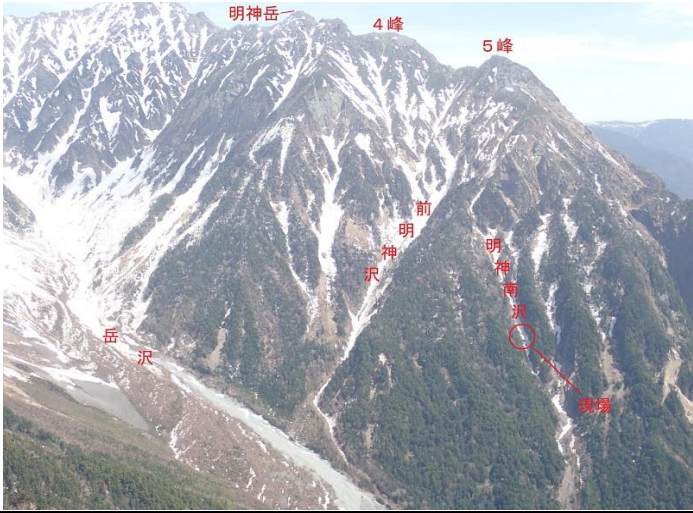
区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	11	20.0%	2	0	9	0	11
転倒	2	3.6%	0	0	2	0	2
病気	6	10.9%	3	0	0	3	6
道迷い	11	20.0%	0	0	0	15	15
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	3	5.5%	1	1	1	0	3
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	5	9.1%	1	0	0	4	5
不明・他	17	30.9%	3	0	1	18	22
計	55		10	1	13	40	64

4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)比率	女性					(人)比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	5	5	23	0	0	0	2	2	9	7	32
20代	1	0	2	11	14		0	0	0	4	4		18	
30代	1	0	0	3	4	51.1%	0	1	0	2	3	47.4%	7	50.0%
40代	4	0	2	1	7	15	0	0	1	0	1	6	8	21
50代	2	0	1	5	8	33.3%	0	0	2	3	5	31.6%	13	32.8%
60代	1	0	3	3	7	7	1	0	2	0	3	4	10	11
70以上	0	0	0	0	0	15.6%	0	0	0	1	1	21.1%	1	17.2%
計	9	0	8	28	45		1	1	5	12	19		64	
比率	70.3%						29.7%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生 (4/20~4/26)

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
4月20日	北アルプス 明神岳	女	42	負傷	滑落	2人パーティで明神岳から上高地に向けて下山中、シリセードのスピードコントロールができず、滑落、負傷
4月20日	北アルプス 明神岳	女	32	無事救出	その他	2人パーティで明神岳から上高地に向けて下山中、同行者が滑落し、技量不足により、行動不能(上記遭難者の同行者)
						上記遭難現場写真
4月25日	北アルプス 蝶ヶ岳	男	60	負傷	滑落	2人パーティで蝶ヶ岳から三股登山口に下山中、足を滑らせて、滑落、負傷

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、3件の山岳遭難が発生しました。すべて滑落に起因する遭難です。今週から春の大型連休が始まりますが、登山に出掛ける準備は万全でしょうか。

- 体調は万全ですか？
- 登山計画書の提出は済ませていますか？
- どの山に登るのか、ご家族やご友人に具体的に伝えましたか？
- 天気は確認しましたか？
- 装備の不備は本当にありませんか？

自然に身を置く以上、自身の命を最優先にした慎重な行動をお願いします。

雪上の斜面を歩く上で、アイゼンを装着するなら、ピッケルはセットが必要です。登山靴が雪で滑らないためにアイゼンを装着し、万が一滑った場合、滑り出して止めるためにピッケルが必要です。

両手にストックを持ち、アイゼンを履いている方をよく見かけますが、急斜面やトラバース斜面でも、そのスタイルを継続するのはあまりにもリスクです。

雪面や斜面の状況を見極めて適切な装備を選定し、重大な遭難を防止しましょう。